

UMIN

UMINオンライン演題登録システムで収集した演題抄録の
医学中央雑誌データベースへの取り込みに関する共同研究

医中誌への取り込みの運用実証テスト(案)について

東京大学医学部附属病院
大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)センター
特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会(医中誌)

1

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 概要

研究者

UMIN

1. 抄録集作成(冊子体・PDF)

2. オンライン学術集会機能(学術集会参加者向けの演題抄録情報のWeb提供)

3. 超早期データベース化

オンライン演題登録システム

医中誌Web

2

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN UMINにおける
学術集会演題抄録情報収集の現状

- 1996年より、30年近い学術集会演題抄録のオンライン収集システムの運用実績
- 年間に448件の医学系学術集会の演題抄録をオンライン収集(2023年)
- 年間に収集する医学系演題抄録総数は、128,807件(2023年)

3

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 医中誌における
学術集会演題抄録情報収集の現状

- 年間約3,500誌の定期刊行物から情報を収集、うち約3割(約1,000誌)が学術集会抄録集、うち約3割(約300誌)がUMINオンライン演題登録システムを利用
- 文献数だと年間約35万件、うち6~7割が学術学会抄録の情報、うち約4~5割がUMINオンライン演題登録システムを利用
- 現在は個別に学術集会抄録集(紙媒体・電子媒体)を収集している。電子データで入稿される情報は数%に過ぎない。
- 学術集会抄録については、収録しているのは書誌情報のみ(原著論文等については、学会の許諾を得て著者抄録を収録している場合もある)

4

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN UMIN・医中誌共同研究

- UMINでオンライン収集した学術集会演題抄録情報を医中誌への自動取り込みにより、
- 早期における学術集会演題抄録情報のユーザへの提供を目指す

1. 演題抄録の登録 2. 演題抄録の収集 3. 演題抄録の医中誌への取り込み 4. 医中誌による演題抄録の検索・参照 5

UMIN

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN UMINで収集の演題抄録の
医中誌への取り込みのメリット(1)

【学会にとってのメリット】

- 医中誌等への掲載の対価として、書誌情報・抄録の掲載料収入を得る
- 学術集会抄録が早期・確実に医中誌に収録されることにより、学会・学術集会の認知度が向上する
- 学術集会抄録が医中誌に収録されることにより、学術集会終了後も演題抄録情報が電子的に永久保存され、利活用可能となる

6

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN UMINで収集の演題抄録の
医中誌への取り込みのメリット(2)

【医中誌にとってのメリット】

- ・ 学術集会演題抄録情報を早期・確実に収集できる
- ・ 学術集会演題抄録情報の掲載により医中誌の付加価値が高まる

【UMINにとってのメリット】

- ・ 学会・学術研究活動の支援というUMINの公的な目的が実現される
- ・ 医中誌の付加価値向上の対価として一定の手数料収入が見込める

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク

UMIN UMIN収集の演題抄録の
医中誌への取り込みの概要

抄録集配布をもって発表された見做すか、学術集会当日の発表をもって発表と見做すかという2つの立場が想定され得る。前者の場合は【A】、後者の場合は【B】が必要である。

学会側の作業	UMIN側の作業	医中誌側の作業
1. 演題抄録の登録	1. 演題登録システムの準備・運用	
2. 採択処理してダウンロード【O】 <small>・ 演題抄録内容の修正 ・ 一般演題以外の追加 ・ 抄録、著者の見直しによる不継続化 ・ 重複分の削除</small>		
3. 抄録集の作成・配布 <small>抄録集で配布分をアップロード【A】</small>	2. 抄録集掲載の演題抄録の抽出	1. 抄録集掲載の演題抄録の取り込み
4. 当日の学会発表 <small>演題の発表分の指定又はアップロード【B】</small>	3. 当日発表された演題抄録の抽出	2. 発表された演題抄録の取り込み

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク

UMIN UMIN収集の演題抄録の
医中誌への取り込みの運用実証テスト(案)の課題

1. 運用実証テストの運用開始(2025年10月より)
 ⇒学会側に演題書誌情報・抄録の医中誌への掲載を許諾してもらえるか。また許諾の条件があるとすればどのようなものか。

2. 抄録集配布時点及び当日の発表時点の演題抄録情報について、その差異を学会側からUMINシステムへフィードバックすることが必要となる。UMIN側の現行システムでは、採択処理時【O】の情報しか得られないが、UMIN側で抄録集配布時点【A】と当日の発表時点の情報【B】を入力する仕組みを構築する。
 ⇒学会側が抄録集配布時点及び当日の発表時点の情報を入力してくれるか？
 ⇒情報の入力は円滑にできるか。

3. 基調講演やシンポジウム等の一般演題以外の演題では、UMIN演題登録システムで収集していない場合がある。
 ⇒【A】または【B】の時点で、学会側で別途入力してもらえるか。
 ⇒情報の入力は円滑にできるか。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク

UMIN 運用実証テスト(案)FAQ

- ・ 書誌情報のみ(学会抄録本文を除く)の提供は可能か？
→ 可能です。
- ・ 書誌情報のみの場合、利用料をいただけるか？
→ 正式運用後は、抄録本文をご提供いただいた場合に限り、医中誌から提供件数に応じた利用料をお支払いする予定です。
※利用料の金額については現在検討中です。
ただし、書誌情報のみの提供は利用料の支払い対象外となります。
- ・ 同じ学会で学術集会ごとに掲載の有無を変えられるか？
→ 可能です。
学術集会単位で調整できます。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク

UMIN 運用実証テスト(案)FAQ

- ・ 個別の演題ごとに書誌情報・抄録本文の掲載許可を指定できるのか？
→ 不可です。
演題ごとに細かく指定することはできません。
- ・ 抄録集配布時点と当日の学会発表時点のどちらの情報を提供するのか？
→ 当日の学会発表時点の情報を要望しますが、抄録集配布時点の提供でも可能です。
- ・ 運用テストで入力した書誌情報・抄録本文は医学中央雑誌に掲載されるのか？
→ 医中誌で確認したうえで、掲載可能です。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク